

春日丘高校 SGH 通信 VOL 3

東洋電機、大垣共立銀行、カツミ工業による講演について

6月6日(土)、中部大学50号館、5011教室にて高校1, 2年生国際コース対象に春日井市に拠点を置き、海外進出をしている地元企業3社からインフラ整備とグローバル人材について講演をいただきました。

1限目のグローバル課題研究を利用し、1年生35名は企業のグローバル化について学習しました。ユニクロを題材に企業規模や、企業の海外進出例を学び、知っていそうで知らないユニクロ(企業)の実態を学びました。特に、ユニクロの国内店舗数と海外店舗数は、それぞれ、生徒の予想を上回る数に生徒達は驚きを隠せませんでした。

2限目では、学級を6グループに分割し、「企業が海外に進出する目的」と「グローバル人材に必要なものは何か」という2つのテーマに関して、グループディスカッションを行いました。「企業が海外に進出する理由」のテーマでは、利益追求、宣伝、社会貢献活動、人材獲得などの意見が出され、「グローバル人材に必要なもの」では、行動力、人望、積極性、コミュニケーション力(言語力)などの意見が出されました。予想を超えた数の意見が生徒達から出され、柔軟な発想力をみることができました。また、普段あまり発表を得意としない生徒達も、ポストイット使って短い意見を複数書くことにより、普段よりも多くの意見を出すことができ、グループ内での話し合いもスムーズに行うことができたように思われます。

3, 4限目から2年生が合流し、東洋電機株式会社常務取締役松村和成様、大垣共立銀行海外事業推進部長後藤勝利様、有限会社カツミ工業代表取締役社長西脇徹様の3名よりご講演いただきました。

東洋電機株式会社様からは、エレベーターにおける住宅インフラの概要や、タイ王国への進出、南京での生産工場の現状などをお話いただきました。また、アジア各国の人口ピラミッドからみる次世代の経済成長率を推測し進出先の国を決めることの重要性についてもご講義いただきました。講演者様の実体験を基に、南京やバンコクの様子も知ることができました。生徒からは、今後求められる人材について質問があがり、手先が器用な人材や、印象がよい人が必要とされていると説明をいただきました。



大垣共立銀行様からは、海外拠点事業、海外進出についてのお話をいただきました。現在、大垣共立銀行様は、中国、タイ王国、ベトナムに駐在員事務所を置いている現状と、2005年から、2014年にかけて企業がどれほどアジア地域に進出したかのデータを紹介いただきました。また、グローバル人材に必要なものとして、3つの事柄を説明し

ていただきました。それらは、丈夫な胃袋、コミュニケーション能力、鈍感力でした。丈夫な胃袋とは、どこへ行っても何でも食べられる、胃袋の応用力と強さを持っていないといけないということでありました。コミュニケーション能力の話では、英語が世界ビジネスの中心言語を担っており、英語を運用できることは当たり前であり、加えて現地の言語を扱える用になる必要性や化学式や図面においても、コミュニケーションツールとして活用できるといったことが学びました。鈍感力は、言い換えれば、細かい失敗や心配を気にせず、プラス思考で物事を進めていくことである、というお話でした。日本にいる間に学んでおくべきことは、他国についての知識よりも、日本の伝統文化を含めた、自国のことをより深く学習する必要があるということだった。



有限会社カツミ工業様からは、ベトナムの現状と体験談を基にグローバルに活躍するために必要なことを Q&A 形式で学びました。ベトナムの近代化の光と陰を、体験談を基に写真を交え説明いただきました。ベトナムではインフラ整備の遅れにより、電線がからみついていて写真を紹介しながら、ベトナム国内での停電の頻発性や、それによる仕事への影響をお話いただき、生徒達もその現状に衝撃を受けている様子でした。カツミ工業様では、ベトナムから研修生を招き、技術協力、技術指導を行っており、その研修生の日本での生活の大変さや、ベトナムでの実態も併せて学ぶことができました。また、ベトナムの月収や、物価を日本の物価と比較して、格差社会がベトナムにも押し寄せているということが分かりました。海外進出のメリットについてもふれていただき、九州で生産するよりもベトナムで生産した方がよりコスト効率が良いという現状が生徒を驚かせていました。最後に、国際舞台で活躍できる人物像を教えてくださいました。高い志を持っていれば、チャンスは誰にでもあり、国境を越えて様々な経験をし、行動力とバイタリティーのある人間が求められているとご指導いただきました。

私が皆さんにお伝え出来ること

- ・ベトナムは遠くて近い国?
- ・ベトナムは近代化とインフラ整備の遅れ
- ・ベトナムの生活
- ・ベトナムの交通事情
- ・ベトナムは物価は?
- ・ベトナム人実習生制度
 - ・弊社のベトナムでの展開
 - ・企業としての地域貢献活動 (CSR)
 - ・国際舞台で活躍できる人間像

※お伝えする内容は、私の経験に基づいたものになります。

ベトナムは近代化とインフラ整備の遅れ

<高層ビルが立ち並ぶ夜の風景>

<高層ビルが立ち並ぶ夜の風景>

<高層ビルが立ち並ぶ夜の風景>

国際舞台で活躍できる人物像

高い志を持っていれば、チャンスは誰にでもあり!!

外国の言葉や法律など様々なことを知らないよりは、知っていた方がよい。知らなければ学べばよい。「知らないという自分」を認識して、どのようにして成長させるかが重要で勉強することも重要。経験することも重要だと思います。日本は海に囲まれた島国なので、日本を離れるということが大層なことのように考えます。大層にある国では、国境を越えるということが難しいがまま。東南アジアの若者たちは、国境を越えて様々なことを学び経験しています。これから日本の若者たちは、そんな彼らと競争していかねばなりません。国際舞台で活躍していくには、何らかの競争を勝ち抜ける行動力が重要になると考えます。やり方は、人それぞれ違って良いと思います。型にはまることなく高い志を持って自由な発想で行動するバイタリティーのある人間が求められると考えます。

以上の講義を聴き、生徒達からは「この講演を、自分の将来を広げるための糧にしていきたい」、「海外に進出するならば、自分自身をもっと見直し、もっと勉強したいという気持ちになりました」といった感想がグローバルルーカスに見られました。